



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.1.31 No.353/

カンボジア 派兵—アジア侵略のための

PKO法案をあくまで廃案へ!

2.11反戦討論集会の 成功をかちとろう!

九二年・九〇年代は、世界も日本も激動の嵐の時代になることは誰もが予想している。

いつ、何がおこっても不思議ではない時代が到来したのである。

われわれは、過ぐる九一年を全力で闘い団結を固め前進してきたその地平を引きつぎ、九二年を一大変革の年とするため共に奮闘しよう。

グラグラの
宮沢内閣
PKOに固執

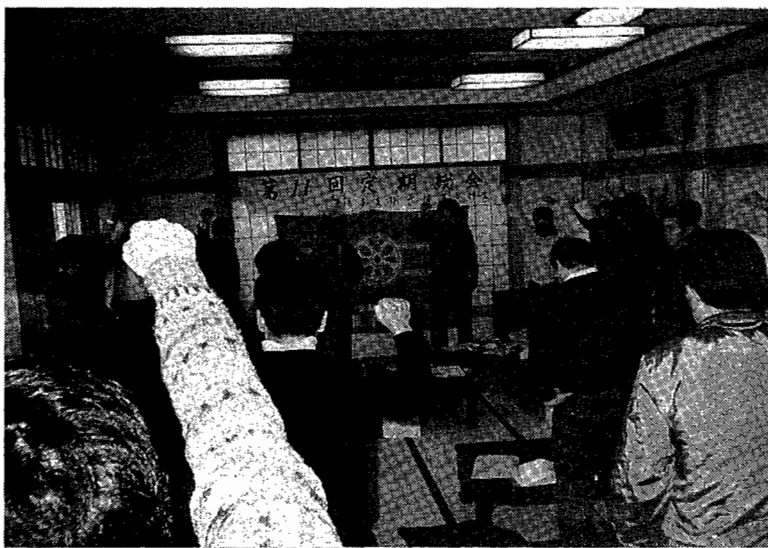
日本の政治情勢は、年明けと同時に日米対立の深刻化、従軍慰安婦問題での韓国・朝鮮人民の怒りの噴出、「共和」「佐川」をめぐる汚職事件、等々宮沢内閣は根柢からグラついているのである。自民党は金丸信を副総理にすえ、新国対委員長に梶山静六をすえ、社公民を抱き込みながら、この危機打開をはかり、な

にがなんでもPKO・カンボジア派兵に乗り出そうとしている。

日本の支配者階級はカンボジアに対し十七年ぶりに無償援助として約四十億円のODA(政府開発援助)共与を決定、さらにUNTAAC(国連カンボジア暫定統治機構)の最高責任者に日本の明石康が就任し、派兵に向かつてのシフトを敷いたのである。

まさに日本は軍事力の面でも、カネの面でもカンボジアでの最大の「貢献者」と成り上がり、もってカンボジア・アジア支配の指導権を握ろうとヤッキになっているのだ。アジアの民衆は心底怒り、弾劾にたちあがっている。「再び侵略戦争を許さない」、これがわれわれ日本労働者人民の負っている絶対的責務である。通常国会でのPKO成立を阻止し廃案に追込もう。

その第一波行動として、二・一一集会の成功を勝ちとろう。



支部の団結を 守りぬこう!

銚子支部定期大会 開催! (二月七日)

一月二十七日、銚子支部第十二回定期大会が開催された。加瀬君を議長に選出した後、錦織支部長があいさつにたち、「九二・三ダイ改は断じて許せない。また千葉転の悲惨な状況を見るにつけ、銚子支部の団結をなんとか守りぬかなければならない。そして、西本の点呼から乗り出しまで伊藤、多田三君を奪還するために全力で決起しよう」と全組合員に訴えた。執行部から方針案が提案された後、活発な議論がおこなわれた。出され

一九九一年度役員

- | | |
|------|-------|
| 支部長 | 錦織 芳雄 |
| 副支部長 | 西本 泰通 |
| 書記長 | 越川 幸夫 |
| 執行委員 | 鈴木 貴雅 |
| 郡 | 川越 雅巳 |
| 志賀 | 嘉一 |
| 関根 | 一美 |
| 渡辺 | 靖正 |
| 小倉 | 明 |